

資料提供			
月日(曜日)	担当課(室)	電話	担当者
2月9日 (木)	グリーン社会推進課	2343	岡島・松永

コウノトリ(鳴門板東ペア)の今シーズン最初の産卵の推定 及び「見守り」への御協力について

NPO法人とくしまコウノトリ基金は、2017年から2022年まで6年連続で野外繁殖に成功した鳴門板東ペアについて、観察カメラの映像を基に「2月7日までに産卵が始まり、2月8日に本格的抱卵に入った」と推定しました。抱卵が順調に進めば、3月中旬には孵化が期待できます。

県民の皆さまには、コウノトリが安心して抱卵ができるよう、「巣に近接した撮影・観察」はご遠慮ください。

また、巣の周辺の農作業や道路の通行の妨げにならないよう、「撮影・観察のための車両の乗り入れ」の自粛に御協力をお願いします。

調査結果

	2月4日 (土)	2月5日 (日)	2月6日 (月)	2月7日 (火)	2月8日 (水)
調査時間(分)	(780)	(780)	(780)	(780)	(480)
巣を留守にした時間(分)	(6)	(0)	(0)	(0)	(0)
巣に伏した時間(分)	(92)	(334)	(271)	(419)	(386)
伏した時間の割合(%)	(11.8)	(42.8)	(34.7)	(53.7)	(80.4)

(参考)産卵を推定する指標

「兵庫県立コウノトリの郷公園」及び「コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル(IPPМ-OWS)」が使用している次の指標を用いた。

1日7時間(=420分)以上の観察で、その間、親鳥が長時間(経験的には10分以上)巣を留守にすることなく、以下の事象が確認されれば産卵が推定される。

- ・オスメス合わせて50%以上の時間巣に伏していたら、初めての産卵の可能性が高い
- ・伏す割合が80%を超えれば、本格的な抱卵に入っていると推定される